

『除草工事における事故防止について』

工事名：令和4年度 狩野川上流部維持管理修繕工事

地区名： 三島地区
会社名： 土屋建設株式会社
氏名： 浅川 真司（現場代理人）
CPDS番号 00316714

1.はじめに

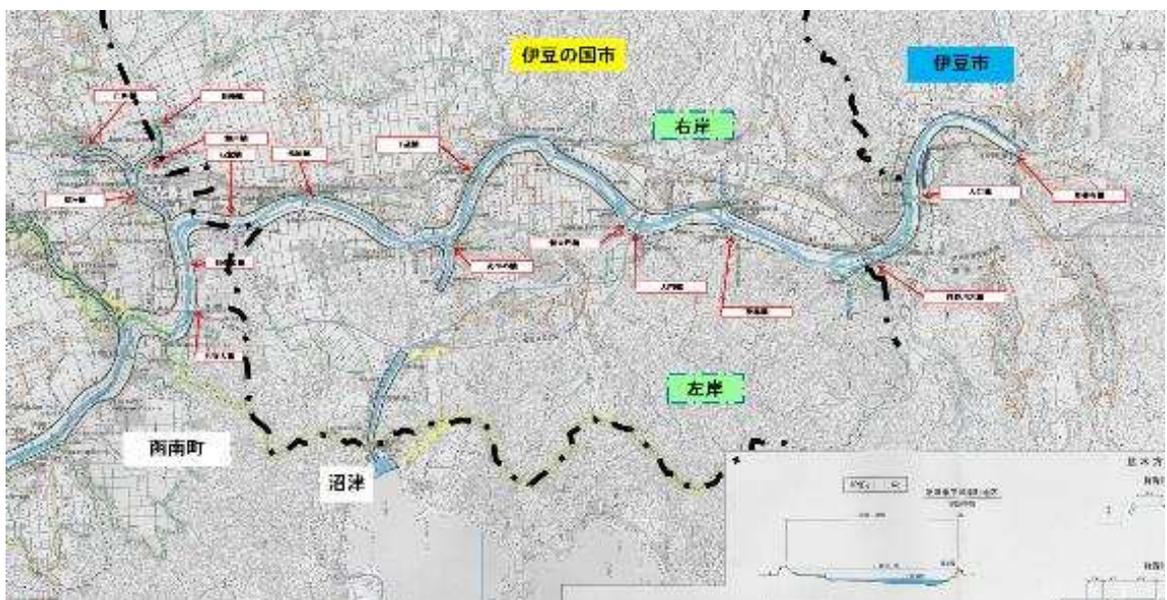
工事概要：本工事は、狩野川上流部 田方郡函南町地先～伊豆市伊豆市地先
堤防の除草・応急維持を行う工事である。

工事名 令和4年度 狩野川上流部堤防維持管理修繕工事
工事場所 静岡県 田方郡函南町地先～伊豆市伊豆市地先
工期 自) 令和5年3月30日
至) 令和6年3月31日
発注者 国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所

工事内容：

除草工 1式
1回目・2回目除草合計973,000m²
応急維持工事 1式
仮設工 1式

位置図：



2. 現場における問題点について

工事名：令和4年度 狩野川上流部維持管理修繕工事

当工事は堤防除草工を狩野川右岸・左岸 大場川合流～修善寺橋 支川来光川・柿沢川 2回行う工事であり、施工距離が長く色々な問題があった。

第一に除草工では、多くの人々が現場で働いており、一歩間違えれば大事故につながる懸念・問題を防止対策した。

第二に除草工程の調整について

除草の順序は狩野川左岸側12.8k p から上流に向けて進み、狩野川左岸27.8k p（修善寺橋）を折り返した後に、右岸側と各支川を進んで大場川合流点までを順路として計画した。

除草区間の移動距離が長く、順路通りに進むと草が交通障害になる箇所が出てくる懸念があった。

- 2-1. 除草中刈払機の回転する刈刃が石などの異物に接触すると、接触した異物や破損した刈刃の破片が飛散する「飛び石」による車両物損、作業員に当たりケガの危険。
飛び石が対向車のフロントガラスに当たり、重大事故に繋がる危険。
- 2-2. 暑熱環境で作業する為「熱中症」の危険。
この2点の事故・問題点を防止対策する事が必須事項だと思い防止対策を行った。
- 2-3. 通常の除草順序では支障が起きる箇所について除草工程の調整

計画平面図



3. 対策について

3-1. 「飛び石対策」について

除草中刈払機の回転する刈刃が石などの異物に接触すると、接触した異物や破損した刈刃の破片が飛散し事故につながる原因をリスト化し、それぞれに対策を行った。

①刈払い機の刈刃を飛び石の発生しにくい刈刃をすべての草刈り機に採用した。
通常の刈刃のチップソーには刃袋部があるのに対し、今回採用した刈刃は刃袋部分が無い。
結果草刈り作業において、石・石礫を遠くへ跳ね飛ばす懸念が減った。



②交通量の多い路肩付近は特に注意しなければならないと思い、バリカン式のアタッチメントを使用した。

バリカン刃+飛び石対策ネットで万が一飛び石が発生しても道路には飛散しないよう対策。



3-2. 「熱中症対策」について

作業員の直射日光を極力遮りたいので、ヘルメットにワンタッチで取り付ける麦わらバイザー
風通しがよく、軽量素材の安全ベストを作業員全員に配布した。

作業員の声として、少し重くはなるが、首や顔に直接日射があたらないので、作業しやすい。

夏場には、電源とペットボトルの水があれば作成可能な製造機を車載し、休憩時間にかき氷を
作業員に配布した。

飲料よりも体の中からかき氷は冷えてくるとの声が多かった。

尚、移動車にはウォーターサーバー、熱中症キットを車載し、いつでも使用できる状態にした。



麦わらバイザー



移動車には、熱中症対策キット
塩分タブレット・ウォーターサーバーを常備

3-3. 「通常の除草順序では支障が起きる箇所について除草工程の調整」

図1. 狩野川左岸19.6k p～19.8k p 付近



図2. 狩野川右岸18.6k p～18.4k p 付近



図3. 狩野川右岸17.0k p～16.4k p 付近

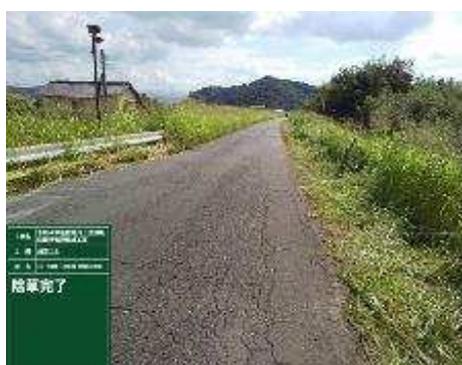


図2、3は共に学生の通学路であり、対向車と接触する危険な区間については、当初の計画を変更し、地域住民への配慮として優先的に除草を行った。着手前の写真を見ると道路の路肩が草で覆われて、端を歩く人や自転車の走行に支障が生じているのがわかる。完了写真では、路肩が目視できるようになっており、走行の支障にはなっていない。通学路を通る学生や、散歩している住民の方々が、「見通しが良くなりました。ありがとう」との声を聞いた時は、とてもうれしいです。

4. 終わりに

このような対策を行った結果、飛び石事故に関しては発生せず、作業員の事故に対する意識向上に繋がり、無事故で工事を完了することができた。

これからも常に飛び石事故撲滅を目指し、様々な対策をしていきたいと思えます。昨今の夏は気温が上昇し、熱中症のリスクが高まっているので、通常の熱中症対策では対応できなく感じている。常に作業員皆が健康で働きやすい環境を整え、対策を行い熱中症・事故ゼロを目指します。

工事を進めるうえで発注者、関係工事業者との調整協力によって、無事工事を完成することができました。

工事に携わって頂いた発注者をはじめ関係者の方々には深く感謝申し上げます。

地域への貢献を大切にし、感謝される（ありがとう）沢山の声をいただけるため、堤防管理維持修繕工事となるよう、これからも精進してまいります。